

TOGAKU PRESS

| JUNE 2026 |

TOGAKU生の
活躍を応援するマガジン



100th
Anniversary

100周年スペシャル号

東洋学園は今年11月に創立100周年を迎えます！
学内では今、100周年のお祝いイベントや
新しい学びが盛んに行われ、活気に満ちています。



2026年11月4日で100周年！

I WILL.. I DO. 100th ANNIVERSARY SINCE 1926



100周年サイトも
要チェック



最新情報を
随時更新中！



<https://www.tyg.jp/100th/>

アニバーサリーイヤーの 盛り上がりをフィーチャー！

1926年に創立し、まもなく100周年を迎える東洋学園。
アニバーサリーイヤーにあたる今年は、お祝いイベントが盛りだくさん！
また、学生たちが主体的に行う取り組みや学びも活発化しており
新たなTOGAKUの歴史が始まる期待に満ちあふれています。

100th Anniv. 1



学生が主体となって
イベントを企画・運営

100th Anniv. 2



旧流山キャンパスに
先輩たちをご招待！

100th Anniv. 3



TOGAKU SHOWCASEでの
PBLが活発化

東洋学園の100年

東洋学園
誕生！

歯科医の養成学校から短大へと転換。英語
教育を重視し、「英語の東洋」と呼ばれた

大学開学当初は
人文学部の1学部のみ

現代経営学部を開設

人文学部をグローバル・コミュニケーション
学部、人間科学部に再編。現在の3学部制に

1917 (大正6)年
前身・明華女子歯科
医学講習所 開校

1926 (大正15)年
東洋女子歯科
医学専門学校 創立

1950 (昭和25)年
東洋女子短期大学 開学

1992 (平成4)年
東洋学園大学 開学

2026 (令和8)年
東洋学園100周年

学生が主体となってイベントを企画・運営

記念すべき100年目の入学式で歓迎会を行ったり、100周年を盛り上げる企画を実施したり。
学生たちが自ら考え、行動して、新しいTOGAKUを創り上げています！



入学式で学生主体の歓迎会を初開催！ 100年目の新入生をおもてなし

記念すべき100年目の入学式では、初の試みとして学生が企画した歓迎会を開催。学生会スタッフがMCを務め、Extreme☆Steppers (ダンス部) が歓迎のパフォーマンスを披露したあと、大型LEDビジョンを活用してクラブ・サークル紹介の動画を上映しました。このLEDビジョンは100周年を機に初導入されたもので、大画面のため迫力満点。体育館がライブ会場のような雰囲気になりました。

その他、学園祭運営局のスタッフが新入生からの質問に本音で答えるトークショーや、学食の無料チケットが当たる早押しクイズなども行われ、大いに盛り上がりました。

学園祭運営局によるトークショーの様子。授業やテスト対策、サークルのことまで、新入生の幅広い疑問に回答



上：Extreme☆Steppers (ダンス部) が新入生を踊りで歓迎 右：学生会と連携しながら歓迎会を盛り上げた学園祭運営局のスタッフ



トークやクイズで
新入生と交流！

Voice

学生会が全面協力！ 学生会長のコメント

「新入生を歓迎するべく、学生たちが力を合わせて開催した初のイベントが成功してよかったです。僕ら学生会が企画した早押しクイズも大盛況でした！」



土井翔太さん

写ルンです企画



100周年を盛り上げる学生委員が オリジナルの記念企画を実施！

100周年を盛り上げるために組織された学生チームが、現在さまざまな記念イベントを進行中。そのひとつ「写ルンです企画」は、在学生・教職員に写ルンですを使って写真を撮影してもらい、それらを集めて展示するというもの。また、「プレイリスト企画」は、今ハマっている曲を在学生・教職員から募集し、人気の高い曲を集めてプレイリストとして発表予定です。どんなふうにお披露目されるのか、今後の展開をお楽しみに！



学内に写ルンですを設置し、「最高の笑顔」をテーマにした作品を募集。多くの作品が集まりました！

私たちが企画！



100周年記念事業イベント委員会
学生委員

プレイリスト企画



「イラスト部門」の1位がこちら。その他、「希望に向かって走り出したい人に聞いてほしい部門」などの部門を認定

Event

今後はこんなイベントも

7月 7/5 (日)、本学の硬式野球部が記念試合を開催。早稲田大学の野球部をZOZOマリンスタジアムに招き、試合を行う予定です。

11月 学園祭との併催で、100周年記念式典&記念パーティーを開催。11/1 (日)に東京ドームホテルで行う予定です。



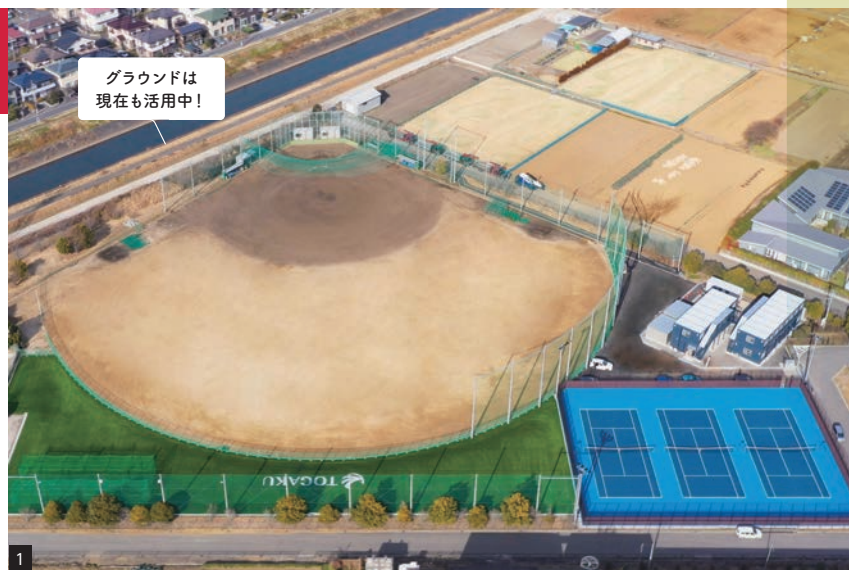
旧流山キャンパスに先輩たちをご招待!

かつて千葉県の流山という場所にも東洋学園のキャンパスがあったことを知っていますか?

5/2 (土)、その旧キャンパスに卒業生を招待し、「ただいま、流山キャンパス!」を開催しました。

1967年から2017年頃まで使われた 旧流山キャンパスが舞台のイベント

東洋学園の流山キャンパスが開設されたのは、東洋女子短期大学時代の1967年。その後、1992年に東洋学園大学が開学し、初期の大学生は流山で4年間の学生生活を送っていました。時を経てキャンパスは閉鎖され、現在、校舎は市立中学校として活用されていますが、今回の100周年イベントに合わせて1日限定で見学が可能に。川の対岸にある「東洋学園大学グラウンド」も会場として使用し、卒業生が集まって盛り上がりました。



1: 現在も硬式野球部やテニス部の練習拠点となっている千葉の東洋学園大学グラウンド 2: 現役時代の流山キャンパス (2011年頃) 3: 短大時代のスポーツ祭 4: かつての大学の学園祭は地名「鰯ヶ崎」にちなんで「鰯祭り」



私たち学生委員も

＼ ただいま、流山キャンパス ＼

イベント当日の様子をレポート！

現場でお手伝い！



100周年記念事業イベント委員会
学生委員

キャンパス見学会

懐かしいキャンパスを見学
同窓生や先生方との再会も！

赤レンガの外観がフォトジェニックな旧流山キャンパス。当時の面影を残しつつ改修が加えられ、現在は市立中学校として使用されています。この日は特別に公開され、かつてここで学生生活を送った卒業生が多数来場。校内を歩いて風景を懐かしんだり、久しぶりに会った同窓生や先生方との会話を楽しむ姿が見られました。

フォトスポットで記念撮影



中庭と校舎内の2ヶ所にフォトスポットが、多くの卒業生が撮影を楽しんでいました



パネル展示&記念ムービー上映



流山キャンパスの歴史をたどる展示や、同窓会の協力で完成した記念ムービーの上映も



メッセージ寄せ書き



会場の入口付近にはメッセージボードを用意。みんなの思いを書き込んで寄せ書きに！

Voice

2016年度卒業生の声

人文学部で英語を学んでいた3人。現在はそれぞれ英語を活かした職に就いているそう。10年ぶりに来校し、「久しぶりにみんなで会うきっかけになりました！」

左から松本さん、鈴木さん、大久保さん



グラウンド記念プログラム

近隣の子どもたちも来場
みんなでスポーツや撮影に挑戦！

キャンパス見学後は、みんなで「東洋学園大学グラウンド」に移動。硬式野球部やテニス部のメンバーが「ゆるスポ」コーナーを展開し、ダーツやピックルボールなどの体験会を行いました。キッチンカーや地場野菜販売の出店もあり、卒業生はもちろん近隣の方々にも多数ご来場いただきました。

100周年記念ガチャガチャ



100周年記念オリジナルキーホルダーのガチャガチャも登場し、在学生が販売を担当



人文字チャレンジ



来場した方々にご協力いただき、みんなで「100」の人文字を作ってドローンで撮影！

スポーツ体験

広いグラウンドを活用し、スポーツ体験の場に。近隣の子どもたちもたくさん参加！



TOGAKU SHOWCASE でのPBLが活発化

100周年を象徴する新しい学び、TOGAKU PBL。
「問いも答えも、自分でつくる。」がテーマです。
学内のTOGAKU SHOWCASEを活用し、
より実践的に学んだり、成果をお披露目するゼミも多数！

Café Series



1 英国ウェールズの 名物スープ&紅茶を販売

現代経営学部 ▶ Birchleyゼミ

Birchley教授の出身地である英国ウェールズについて、ウェールズ政府やカルビー UK社のご支援を得ながら研究。その成果をイベントにて発表しました。また、「学生や教職員がウェールズ文化に親しむきっかけになれば」との想いから、ウェールズならではのフードの販売、ゲーム開催、伝統音楽のミニコンサートなども行いました。



2 環境に配慮したカップで ホットドリンクを提供

現代経営学部 ▶ 隈本ゼミ

「これからの容器包装の在り方を考える」というテーマのもと、容器包装や環境問題について来場者に考えてもらうカフェイベントを実施。環境に配慮した再生紙のカップを使用し、来場者にホットドリンクをふるまいました。会場には、環境問題に関する研究成果をまとめた資料も掲示。お茶を楽しみながら気軽に学べるよう工夫しました。



3 独自開発の梅塩を使った おにぎりを無料配布

現代経営学部 ▶ 馮ゼミ

地域の副産物に新たな価値を見いだす産学連携プロジェクトに取り組んでいる馮ゼミは、梅干しの副産物である「梅酢」を使ったイベントを実施。梅酢を乾燥させてオリジナルの梅塩を作り、その梅塩で味付けしたおにぎりやフライドポテトを無料配布しました。リサーチを兼ね、試食した人に気に入った味を投票してもらった工夫も！



4 都市型ワイナリー計画の 関連アイテムを紹介

現代経営学部 ▶ 野村ゼミ

野村ゼミでは1号館の屋上を活用したPBL「屋上菜園および商品ブランディングプロジェクト」を行っており、その関連イベントを実施。独自に立ち上げたブランド「NIDO」の紹介動画や展示に加え、屋上のローズマリーを使った製品の販売、最終目標である「都市型ワイナリー」の研究にちなんだソフトドリンクの試飲会を行いました。





100周年に向けて誕生した

TOGAKU SHOWCASE

PBLの「見える化」を目的に設置されたスペース。PBL関連の展示やイベントなどを行っています。商品の販売・配布などのイベントを通じて、スモールビジネスを体験する機会にもなっています。



オリジナルクッキーを
プレゼント！



5



6



5 産学連携PBLにちなんだ クッキー&ドリンクを配布

現代経営学部 ▶ 八塩ゼミ

昨年8月に実施した産学連携PBL「マイナビpresents 閃光ライオット2025」を再現したカフェイベントを実施。ゼミの活動を紹介するSNSをフォロー&閃光ライオットの写真に「いいね」をした学生・教職員に、クッキーとヘルシーな飲み物を無料配布しました。また、PBLを紹介する動画上映とポスター展示も行いました。



6 産学連携先の和菓子店の 商品を特別販売

人間科学部 ▶ 堀口ゼミ

「若者の和菓子離れ」をテーマに京菓匠 笹屋伊織との産学連携PBLを実施している堀口ゼミは、和菓子カフェイベントを開催。笹屋伊織の人氣和菓子に加え、ゼミ生たちが「東洋学園100周年」にちなんでデザインした特製どら焼きも販売しました。また、笹屋伊織の女将による特別講演や、ゼミ生によるPBL発表会も行いました。



Exhibition



サステナブルをテーマにした一般公開イベントを開催

現代経営学部 ▶ 本庄ゼミ

「サステナブルファッションの価格以上の価値を体験で広める」ことを目的とした一般公開イベント「#サステナブルがとまらない展」を開催。ゼミ生たちはサステナブルに取り組むアパレル企業に協力を依頼し、当日はトークショーや体験会などを実現。一般の方々も多数来学し、大盛況となりました。



アフリカの魅力を伝える展示やトークセッションを実施

グローバル・コミュニケーション学部 ▶ 井上プレゼミ

「日本であまり知られていないアフリカの良いところ」をPRするプロジェクトに取り組んでいる井上プレゼミは、「アフリカのあるき方2025」と題した学内向けイベントを実施。ポスターや冊子の展示に加え、アフリカ産ナッツの配布、ゲストを招いてのトークセッションなどを行いました。



大学の地元でフィールドワーク。その研究成果をプレゼン！

グローバル・コミュニケーション学部 ▶ 中村プレゼミ

大学の地元である本郷・水道橋エリアでのフィールドワークに取り組んでいる中村プレゼミ。その集大成として、ゲストを招いてポスタープレゼンテーションを実施しました。地域の文化や再開発など、テーマは一人ひとり異なり、フィールドワークで集めた情報を分析した興味深い発表が行われました。

TOGAKU PBL

現 現代経営学部
人 人間科学部
グ グローバル・コミュニケーション学部



屋上育ちのローズマリー製品を
地域イベントに出品!

現 野村ゼミ

屋上のローズマリーで作った製品を「文京博覧会」に出品し、近隣の方々に販売。ゼミの活動を紹介する展示も行いました。



写真は田蔵ゼミ

田蔵ゼミ 長谷川ゼミ

2つのゼミがblue-ing! と連携
サッカーをテーマにPBLを実施

人 田蔵ゼミ/長谷川ゼミ

JFAサッカー文化創造拠点「blue-ing!」と連携。田蔵ゼミは「本郷百貨店祭り」にサッカー体験ブースを出店しました。



日本の隠れた観光資源をテーマに
国内&韓国でフィールドスタディ

グ 社会調査・フィールドスタディ演習

「日本の隠れた観光資源」を探るため、韓国にも飛んで調査。リアルな体験をもとにした研究成果を発表しました。

スイーツや音楽などテーマは自由
ニューヨークで興味を深掘り!

グ グローバルPBL1・2

学生自らが課題を設定し、ニューヨークでのフィールドワークを実施。帰国後は、現地での調査結果をまとめて発表も。



すべての1年生がチャレンジ!
PBLの土台を築く
「プレゼンTOGAKU」

全学部 1年生

1年生一人ひとりが独自のテーマで研究・発表。その後、代表者による発表会「プレゼンTOGAKU」を実施しました。



TOGAKU PBLの集大成!
4年生による卒業論文発表会

全学部 4年生

4年間のPBLの集大成として学生一人ひとりが卒論に取り組み、学部ごとに発表会を開催。完成度の高い研究が披露されました。



ダーツライブ社と産学連携
ダーツ普及の施策を提案

現 安藤ゼミ



ビジネスボードゲームを開発
プレキャンでお披露目

現 石黒ゼミ



大学図書館の可能性を研究
英語でプレゼンも

現 ビジネスケース研究VI (英語)



児童養護施設の行事に
ボランティア参加

人 堀谷ゼミ



福祉型カレッジと連携し
スポーツイベントを開催

人 滋谷ゼミ



日本ゴルフツアー機構に
集客戦略をプレゼン

人 田蔵ゼミ



死刑制度や性的搾取などの
課題を多角的に掘り下げる

人 人間科学総合講座



日本語学校の生徒を迎え
各国の文化について意見交換

グ 李ゼミ



「広告のこぼれ」をテーマに
秋葉原でフィールドワーク

グ 飯尾ゼミ/高尾ゼミ/宮房ゼミ



学園ゆかりの人物を研究
史料室の活性化にも貢献

グ 井上ゼミ



JICAでの学外研修を通じて
日本人移民への理解を深める

グ 川口ゼミ



日本語教員を目指す学生が
リアルな授業を見学&登壇

グ 日本語教育実習



TOGAKU SPORTS

昨年の春リーグで優勝、秋リーグは2位を記録した硬式野球部。今季の戦績はいかに!?
男女テニス部やフィギュアスケート、外部のダンスチームに所属する学生の活躍もお届け。

硬式野球部

2026年度の春季リーグで健闘し、2部2位に！

東京新大学野球連盟の2部リーグに所属する本学の硬式野球部。2026年度の春季リーグ戦は6勝4敗で2位と健闘しました。しかし、目指すは2部優勝・1部昇格。主将の青木空選手は、「今年こそは『あと一歩』をつかみ取り、1部昇格を果たしたい」と意気込んでいます。

千葉の東洋学園大学グラウンドを拠点とする硬式野球部は、地域との交流も大切にしており、地元中学生との合同練習や野球教室も行っています。特に野球教室は、TOGAKU PBLの課外活動版という位置づけのプロジェクトで、選手たち自身の成長にもつながっています。



上：春リーグ最終戦。今年は1部昇格の道を切り拓くという想いを込めて「拓道」をスローガンに 左下：試合の様子 右下：野球を通じて中学生との交流も

男女テニス部



上：関東学生テニス選手権の本戦に進出した吉田選手 左下：男女テニス部のメンバー 右下：野球部同様、地域の子供たちとも交流。子ども向けテニピン教室の開催も

吉田選手が関東学生テニス選手権の本戦に進出！

2025年関東学生テニス選手権大会に、本学女子テニス部の吉田瑠里選手が出場し、個人戦では5年ぶりとなる本戦進出を果たしました。また、吉田選手以外にも2次予選に進出できた選手が多く、成長のきっかけになる試合ができた選手も多かったようです。

今年は新入部員10名(男子9名、女子1名)が入部。主将の辻琉聖選手からは、「1年生が増えたことで活気づき、チーム全体が盛り上がっています」とのコメントも。男子テニス部は関東学生リーグで3部昇格、女子テニス部は4部昇格を目指して日々練習に励んでいます。

フィギュアスケート部（同好会）

中村選手が全日本インカレで5位 関東インカレでは2位に！

今年1月に開催された「第98回日本学生氷上競技選手権大会」(全日本インカレ)に本学フィギュアスケート部の中村理愛選手が出場。ゼミの仲間や教授が見守る中、丁寧な滑りでフィギュアスケート女子5級の5位に入賞しました。また、2月の「第53回関東学生フィギュアスケート選手権大会」(関東インカレ)では2位に輝き、前年度に続き表彰台にのびました！



ダンス

ダンスでも学びでも、世界を見据える澁谷さん

小学4年生からヒップホップダンスを始め、ダンスチーム「きらめき☆グリッター」に所属している澁谷唯希さん。チームでWORLD OF DANCEという世界大会に出場し、2023年に優勝、昨年は2位に。今後の目標は、再度世界一になること。また、「ダンスで触れた海外に、語学留学という形で挑戦したい」とも考えているそうです。



2025 Fall – 2026 Spring

TOGAKU NEWS



最新ニュースは
こちら



中国語Lounge Timeを通じて交流する両校の学生

01

国際交流イベント

昨年秋には中国の浙江旅游職業学院から 今年の夏には米国SHSUから学生が来学！



東洋学園大学では、都心の立地や大学の持つさまざまなリソースを生かし、国内外の大学との大学間連携を推進しています。

その提携校の一つが、中国の浙江旅游職業学院。定期的に交流しており、昨年10月には同校から3名の学生が来学し、本学で「TOGAKU日本文化体験演習」を実施。約1週間の滞在期間中、授業や課外活動を通じて本学の学生とも交流を深めた様子。本学学生のガイドで東京観光も楽しみました。

また、本学はアメリカのサム・ヒューストン州立大学(SHSU)とも長年親交があり、夏のサマースクールは毎年の恒例行事。今年も5月にSHSUの学生が来学し、約3週間にわたって本学の学生と楽しい時間を過ごしました。



日本文化体験演習には茶道や華道の体験も



おにぎり作り挑戦する中国人学生(中央)

02

鑑真杯

中国語学習の成果を発揮！ 第13回「鑑真杯」中国語 スピーチコンテストを開催



中国語を学ぶ学生が、日頃の学習成果を披露する機会となっている東洋学園大学主催「鑑真杯」中国語スピーチコンテスト(共催：浙江旅游職業学院)。第13回目の昨年は、暗唱・朗読部門に8名、スピーチ部門に4名、特別スピーチ部門に2名が出場しました。

審査の結果、グランプリ(鑑真杯)・スピーチ部門1位に輝いたのはグローバル・コミュニケーション学部の森本素鶴さん(当時4年)でした。また、暗唱・朗読部門では人間科学部の天海春奈さん(当時2年)が1位となり、森本さん・天海さんには副賞として中国研修旅行が贈られました。なお、特別スピーチ部門では、グローバル・コミュニケーション学部の篠原健さん(当時2年)が入賞しました。



左：グランプリ(鑑真杯)・スピーチ部門1位の森本さん(左側)と暗唱・朗読部門1位の天海さん(右側) 右：天海さんの発表の様子



03

留学

昨年秋以降、長期6名・短期22名、計28名が留学に挑戦！ 帰国者が経験をシェアする機会も

本学では、留学に関する多彩なチャンスや支援を用意しており、挑戦する学生も多数。昨年秋学期からはグローバル・コミュニケーション学部の2名が長期留学へ、国際キャリアプログラム(ICP)の11期生4名がアメリカへ留学しています。また、今年3月には留学経験者による「帰国者報告会」を開催。春休みの短期留学プログラム参加者と、オーストラリアでの長期留学を終えた学生らがプレゼンを行いました。



04

卒業式

3月に卒業式を挙行 新たな門出を祝福！

3/20(祝)、2025年度東洋学園大学卒業式および大学院の学位記授与式を挙行。式典後には学生会主催の祝賀パーティーも行われ、後輩たちが先輩の卒業を祝う様子も見られました。



05

公開講座

公開講座(リベラルアーツ)を開講中 現代経営研究会は秋から開講予定

2026年度の公開講座(リベラルアーツ)は5月からスタートしており、全6回を予定。最終回となる7/25(土)には本学の辻中豊学長が登壇予定です。また、秋からは現代経営研究会がスタート予定。申し込み方法などの詳細は大学ホームページで。



「学内業界・企業研究セミナー」の様子

06

キャリアイベント

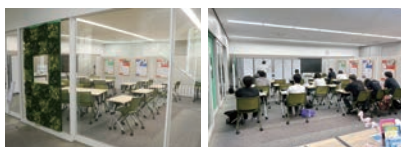
3年生の就活をキャリアセンターが支援！ 「学内業界・企業研究セミナー」を開催

昨年12月、3年生向けの就職活動支援としてキャリアセンター主催の「学内業界・企業研究セミナー」を開催しました。当日、会場のフェニックスホールには採用意欲の高い企業14社が集結。業種もIT系から旅行業、メーカー、金融、商社まで幅広く、11業種にものぼりました。会場には当初の募集を超える110名の3年生が来場し、各社の採用担当者から業種や企業の説明を受ける姿が。就職活動の本格化を前に、企業との接点を持つ貴重な機会となったようです。



Check!

起業・事業承継ラボが誕生！



この春、1号館2階のキャリアセンター内に「起業・事業承継ラボ」が誕生。今後は起業や事業承継に特化したイベントも開催予定です。

07

学部長賞

昨年秋学期の学部長賞受賞者を発表！ 宅建や簿記1級など難関資格の合格者も

東洋学園大学では、資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に学部長賞を授与しています。2025年度の秋学期も多くの方が活躍・受賞しました。



2025年度秋学期の各学部受賞者

2025年度秋学期 学部長賞受賞者

※学年は受賞時

【現代経営学部】

- ・平良円(2年) / Microsoft Office Specialist Excel Expert (Microsoft 365 Apps)
- ・岡崎創午(3年) / 日商簿記検定1級
- ・奥平彩愛(3年)、篠原菜々里(3年) / 秘書技能検定2級
- ・櫻井陽太(4年) / 宅地建物取引士
- ・他1名 / 基本情報技術者試験

【人間科学部】

- ・有我結希(4年) / MOS世界学生大会2025日本代表選考Excel部門入賞
- ・上原弘登(2年) / 体力トレーニング検定2級
- ・朝倉菜月(3年)、近藤碧(3年)、佐藤拓佑(2年) / 心理学検定2級
- ・山口あやの(4年) / 韓国語能力試験TOPIK3級・4級
- ・坪桃子(4年)、水戸優利(4年) / メンタルヘルス・マネジメント検定 Ⅲ種(セルフケアコース)
- ・菊池柚希(2年)、K.T.(2年)、手代木類至(2年)、冨樫優太(2年)、新川環(2年)、T.A.(1年)、R.E.(1年)、岡嶋沙弥(1年)、金子陽音(1年)、木嶋璃桜(1年)、北川友結(1年)、篠原穂花(1年)、相馬琉碧(1年)、武士和正(1年)、野澤遥帆(1年)、三浦世蘭(1年)、宮本勝稀(1年) / 体力トレーニング検定3級

【グローバル・コミュニケーション学部】

- ・安倍美鈴(3年) / HSK 中国語検定3級



じきょうやまず #自彊不息でいこう

Vol.10

「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。

このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。

高校時代から
推し活しています！



土井翔太さん
(現代経営学部3年)

入学してすぐ学生会に入り、2年生で学生会長に就任。学生会の主な役目は、学内イベントの企画・運営やクラブ・サークルをまとめること。その先頭に立つのが学生会長であり、日々大切にしているのは「自分も楽しみながら、みんなをうまく巻き込むこと」だそう。持ち前のリーダーシップとPBLの授業で培ったマネジメント力をフル活用しています。学業の面では、今年から野村ゼミに所属。「現代的な農業ビジネスを学ぶのが楽しみ!」と語ります。

